

清瀬けやきホールの催し物

- ①そうだじゅげむきこう
日時 1月20日(土)午後2時～(開場は午後1時30分)
費用 一般1,000円、小学生500円(全席自由)
出演 柳家わさび(独演会)
- ②ボニージャックス&ベイビー・ブージョイントコンサート
日時 1月26日(金)午後2時～(開場は午後1時30分)
費用 前売り一般3,500円・友の会3,200円・ペア5,500円・シルバー(65歳以上・要証明)3,000円(全席指定、未就学児入場不可)
出演 ボニージャックス、ベイビー・ブー
- ③清瀬けやき亭落語会
日時 2月12日(月)午後2時～(開場は午後1時30分)
費用 前売り一般2,000円・友の会1,500円・ペア3,000円・シルバー(65歳以上・要証明)1,500円、当日2,200円(全席指定、未就学児入場不可)
出演 三遊亭天どん、春風亭昇也、立川笑二、三遊亭ふう丈、翁家和睦(太神楽)
- ④歌って健康! 歌声サロン
生演奏にあわせて歌いませんか。
日時 1月17日(水)、2月21日(水)いずれも午後2時～4時(チケットの発売は午後1時30分～)
費用 1,000円(全席自由)
講師 杉山公章氏
- ⑤講座「ベビーマッサージ教室」
対象 2か月～ハイハイ前までの赤ちゃんとその保護者。先着10組
日時 1月16日(火)午前10時30分～正午
費用 600円
講師 小宮しのぶ氏
持ち物 タオル・バスタオル・赤ちゃんの飲み物・お持ちの方は授乳用ケープ
- ⑥講座「おけいこアロマ」
先着12人。

- 日時 1月19日(金)午後2時～3時30分
費用 1,500円
講師 西脇直子氏
- ⑦講座「写経教室1月～3月」
各曜日先着18人。
日時 月曜教室=1月22日、2月26日、3月26日、木曜教室=1月25日、2月22日、3月15日いずれも午前10時～正午
費用 3,000円(全3回、用紙代別)
講師 横田游心氏
持ち物 大筆・小筆・すずり・墨汁・下敷き・文鎮・半紙
- ⑧絵本deリトミック
各クラス先着16人。
日時 1月23日(火)、ひよこクラス(1人でお座りできるころ～1歳半ごろ)=午前10時～10時40分、うさぎクラス(1歳半ごろ～3歳)=午前11時～11時40分
費用 各クラス1,500円
持ち物 子どもの飲み物、動きやすい服装
- ⑨参加者募集「清瀬リコーダーフェスティバルVol.3」
①リコーダーオーケストラクラス、②ビギナークラスを募集します。
対象 小学3年生以上。先着①50人②10人
日時 ①2月25日(日)、3月18日(日)、4月8日(日)・15日(日)・21日(土)午後4時～7時、②3月18日(日)、4月8日(日)・15日(日)・21日(土)午後3時～3時45分
費用 ①一般8,000円、小・中学生3,500円(コンサートチケット1枚付き)、②一般4,000円、小・中学生2,000円(コンサートチケット1枚付き)
講師 松浦孝成氏(リコーダー)
※⑤⑧は清瀬市子育て・キラリ・クーポン券が使えます。
申込み・問合せ ④は直接会場へ。それ以外は直接窓口または電話で清瀬けやきホール☎042・493・4011へ

コミュニティプラザひまわりの催し物

ひまわりクラフト倶楽部
縮緬を使って「節分リース」を作

ります。先着12人。
日時 1月21日(日)午前10時～午後1時
費用 1,200円(材料費込み)
持ち物 先の曲がったピンセット・持ち帰り用の袋か箱
申込み・問合せ 直接窓口または電話でコミュニティプラザひまわり☎042・495・5100へ

◆無料パソコン教室(Windows10)、無料タブレット・スマホ基礎教室(iPad使用)
対象 パソコン(Windows10)、タブレット・スマホが初めての方(シニア大歓迎)。各月先着12人
日時 パソコン=毎週水・土曜日午前10時～正午(各曜日全4回)、タブレット・スマホ=1月18日(木)、2月15日(木)午前10時～午後0時15分
※ヨガ・カラオケなどの無料体験(要予約)も行っています。
申込み・問合せ 直接窓口または電話で友遊(NPO法人情報労連東京福祉センター)☎042・497・8500へ

多摩六都科学館の催し物

◆全編生解説プラネタリウム「つきのいろ」
月の色が変わる! 「月色」と「月食」の関係とは!? 1月31日(水)に赤銅色になる皆既月食、また1月と3月に見られる「ブルームーン」と呼ばれる月について解説員がお話します。先着234人。
日時 3月20日(火)までの午後3時50分～(水・土・日曜日、祝日と1月中の平日は午後1時10分の回もあり)
費用 観覧付入館券(おとな1,000円、4歳～高校生400円)
◆ICRRサイエンスカフェ
宇宙最初の星からの重力波 ～ブラックホールは星の化石?～
世界初観測の重力波の発生源は連星ブラックホールの衝突でした。

平成30年度清瀬市平和祈念展等実行委員会委員募集

戦争の悲惨さ、平和の大切さ、人命の尊さを多くの人に伝える平和祈念事業の企画・実施を市と協働で行う「清瀬市平和祈念展等実行委員会」の委員を募集します。
委員会では8月と3月に清瀬市の特色のある内容で「平和祈念フェスタin清瀬」を開催しており、委員には企画の段階から、運営にも関わっていただきます。
応募資格 市内在住の方。定員20人
申込み・問合せ 2月28日までに電話・ファクスまたははがきに住所・氏名・連絡先を記入し、企画課市民協働係☎042・497・1803☒042・491・8600へ

この天体の存在を理論的に予言していた研究者を招き、星の進化などについてお話いただきます。定員36人(応募者多数の場合は抽選し当選者のみに参加券を送付します)。
対象 小学5年生以上の方
日時 1月20日(土)午後2時～3時30分
費用 入館料(おとな500円・4歳～高校生200円)
講師 東京大学宇宙線研究所(ICRR)特任研究員 衣川智弥氏
申込み 1月9日(必着)までに多摩六都科学館ホームページhttp://www.tamarokuto.or.jpにある応募フォームまたははがきにイベント名・開催日・氏名(フリガナ)・年齢(学年)・郵便番号・住所・電話番号を記載のうえ、〒188-0014西東京市芝久保町5-10-64 多摩六都科学館へ
※1月1日(月)～3日(水)・9日(火)・15日(月)・22日(月)～25日(木)・29日(月)は休館日です。
問合せ 多摩六都科学館☎042・469・6100

消費生活相談の現場から

地域の方の見守りで高齢者の消費者被害が救済されました!

【事例1】

数か月前「これを使えば病気にならない。医者いらずになる」と勧誘され150万円の健康器具を購入した。近所の人に高額な健康器具を買ったことを自慢したところ「そんな話はない。騙されている」と言われ消費生活センターを紹介された。本当に騙されたのか半信半疑だったが、相談員から事業者のセールストークは法的な問題があると指摘され、自分が騙されたと自覚した。

【事例2】

近所の一人暮らしの高齢者宅前に見知らぬ車が停まっていたので心配になった。車がなくなるのを見計らい高齢者に事情を聞きに行ったところ、突然知らない事業者が訪ねてきて高額な浄水器を勧められ契約してしまったという。契約を取り消すことは出来ないか。

【アドバイス】

上記は高齢者の周囲の方が異変に気付き、消費生活センターに繋いでいただいた事例です。事例1は全額返金され、事例



2は契約解除となりました。被害を受けたとしても、高齢者自身が騙されたことに気づき自らセンターに相談することは困難です。そのためセンターが被害を把握出来るのは氷山の一角で、救済されないままの相談が埋もれていると思われます。
一方で悪質業者は、判断力が低下し相談する人がいない一人暮らしの高齢者を日々狙っています。消費生活センターでは、高齢者の消費者被害を未然に防ぐため、地域包括支援センターなどと連携して高齢者の見守りを行っています。地域の方のちょっとした気づきが消費者トラブル防止につながります。身近な高齢者の様子がいつもと違ったり、心配な事がありましたら消費生活センターにご相談ください。
問合せ 消費生活センター☎042・495・6212(相談専用)

みつばち通信

5年目を迎えた「清瀬みつばちプロジェクト」



みつばちの越冬対策=(左)保温のための板を入れる(下)冷たい空気が入らないように、巣箱の入り口を狭める



冬のハチの生活

ハチは冬が苦手。みんなから恐れられるスズメバチの女王バチは、寒さが本格的になる前に、幼虫から栄養液を十分摂取して巣を離れます。朽木などに越冬室を作り、女王蜂一匹で冬眠をして冬を越します。

それに対してみつばちは、家族みんなで越冬をします。この時期は蜜を採るために外に行くことはなく、今まで貯蔵したはちみつを食べて生活をします。

みつばちは8℃で凍死してしまうため、巣のなかでかたまり、おしくらまんじゅうをして暖をとります。市ではみつばちの負担を少しでも軽減するため越冬対策を講じています。

今年もたくさんのおいしいはちみつを作って欲しいですね。

明けましておめでとうございます。

清瀬の基幹産業である農業の更なる活性化、花のあるまちづくり事業の拡充、地元ブランドの創出を目的に発足した、東京都初、自治体職員による養蜂「清瀬みつばちプロジェクト」は今年で5年目を迎えます。収穫したはちみつをふるさと納税の返礼品として活用。市の主要イベントで販売するほか、市内に花を増やすことを目的に、年間約5,000本のブルーベリーやオリブなどの苗木を市民に無料配布する「蜜源植物の苗木無料配布会」や、環境教育の一環として、養蜂見学会や採蜜体験会などを実施してきました。

これらの取り組みを今年は更に、広く市外にも発信し、清瀬市を全国に知ってもらえるよう、「東京清瀬みつばちプロジェクト」と改名して事業展開を図ります。

これからも応援をよろしくお願いいたします。